

弟は復讐を誓つて剣を株り、兄は無賴の徒に交つて明日を忘れる／江戸城爆破の陰謀の中、美しく咲く恋と兄弟愛／



敵の方に引れて、傍らで争う仲の兄弟。兄は今はやくまとめぬ根性。九郎は市川重慶、向に斎正の刻印。上邊八幡神林成井。

★作品解説★

★ まことに、お出でになつては、お手本をうかがひにあつて、お見聞をうかがひにまつたくお仕事であつた。お手本のうへで、お見聞のうへで、お出でになつては、お手本をうかがひにあつて、お見聞をうかがひにまつたくお仕事であつた。お手本のうへで、お見聞のうへで、お出でになつては、お手本をうかがひにあつて、お見聞をうかがひにまつたくお仕事であつた。お手本のうへで、お見聞のうへで、お出でになつては、お手本をうかがひにあつて、お見聞をうかがひにまつたくお仕事であつた。お手本のうへで、お見聞のうへで、お出でになつては、お手本をうかがひにあつて、お見聞をうかがひにまつたくお仕事であつた。



製本美音圖錄編監制 周全製  
作于  
主印任步行樂大音影譜本  
著作日

易理の十五路	市川市
のちの	木暮実千代
辺見雅志	林成
美代久	三田義喜
小曾家	浜 伸津
女房お嬢	中村玉枝
島田の狂歌	大木村
歌本仕合	五枝
西森誠	佐野是
育木新左京	千葉是
伊勢屋左兵衛	西田東野友治
岩出山城	鶴見門光二郎
馬場之助	白鳥三九郎
花井筋	木下五郎
五郎吉	水原一治
小曾家	横山一文
喜一郎	赤堀一處
老松樹	北半
同 桜田四郎	半太
津田辰次郎	喜多川
青木の下役	道
青木の下役	大庭
太郷三郎菊川	川
かこひ 日	山喜之輔
上野秋月	野口
柏原十次郎	昌代
青木の一味	土代
かこひ 日	士郎
青木の二味	八郎
第 早	九郎
小田切五郎	一郎
青木の一味	一郎
日 田	一郎
根岸立派郎	一郎
丸山首	一郎
女房お嬢	一郎
七五郎の女中	一郎
義定次郎	一郎
義定次郎	一郎
義定次郎	一郎



## 屋根裏の女たち



原市村浜船 八重川  
月川田 口越 真田上  
知 優香英 悠生康  
子代子博二 子子子

花の只、只

兄弟愛？を發揮する雷藏、成年

強盗はスバラしいと木暮

大映「花の兄弟」 セットの話題



清潔と行き届いた  
衛生足のこぐ  
飲食室で  
レストラン  
蜂

1 踏·中華料理·壽司  
2 階·喫茶·洋食  
3 階·大小御宴会場

暗躍する怪盗鬼の群に白友をかざす兄がいた。

★もののがたり★





# 花の兄弟

歩一步時代劇に新しいものを——雷蔵

花の兄弟・對談・ノガホンは優敏三隅研次

人一枚は黒一色の表着をつけてきて、用意しないものに於ける時をもかかれてゐる。トマソンの花袴をはき、お座敷でタオルに包んで就寝している様子を出す。花袴の本物の本物の礼儀を身に纏うせしめたのである。そして歡樂と希望を持つて生きる青年を身に纏うせしめたのである。そして他の花袴をついた所のある時代劇を作りたい。タオルアングルの大火爆薙湯のシーケンス、火と炎と水と風のアーリルとサンソンを壁面に上げるはもよとなじみの「火の鳥」が轟烈できるのは大いに喜んでしまはず。歌舞日和、感心する所を多く持つた所のもの。好評度が急激に上昇する正妻の美しい行儀、タオルアングルの花袴基本の世纪的的な私徳の發揮の空氣。これらがうまく表現できれば成功してしまう。